

2021年11月 4日
京成電鉄株式会社

安全性と輸送品質の更なる向上を目指して

2021年度 鉄道事業設備投資計画

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2021年度、鉄道事業で総額156億円の設備投資を実施します。

お客様により安全・快適にご利用いただけるよう、駅ホームにおける安全性向上や鉄道施設の強靱化などの安全対策の強化、駅施設のリニューアルやバリアフリー化工事などのサービス向上に取り組めます。

詳細は次頁の通りです。

<概要>

(1)安全対策の強化

- 押上線 葛飾区内(四ツ木駅～青砥駅間)の連続立体交差事業や、京成本線荒川橋梁架替工事を進めます。
- 高圧配電線のケーブル化及び運行管理用ネットワークの機器更新を進めます。
- 駅舎・高架橋柱の耐震補強工事や法面補強工事を進めます。
- 踏切自動障害物検知装置の高規格化や列車無線のデジタル化など、鉄道施設の更新・改良を進めます。
- 内方線付点状ブロックの整備など、ホーム上における安全対策を進めます。

(2)サービスの向上・環境対策

- アクセス特急用の3100形車両2編成(16両)を追加導入します。
- 駅施設のリニューアル及びバリアフリー化を進めます。
- 更なる環境負荷の低減を図るため、駅・車内照明のLED化を進めます。

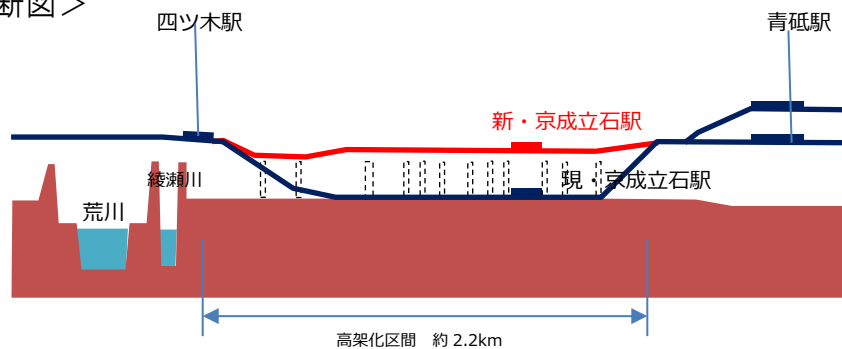
2021年度 鉄道事業設備投資計画について

(1)安全対策の強化

① 連続立体交差事業の推進

押上線葛飾区内(四ツ木駅～青砥駅間)の連続立体交差事業について、仮下り線工事を進めます。この事業が完了すると、平和橋通りなどの沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消します。これに伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりが推進されます。

<縦断図>



② 京成本線荒川橋梁架替工事の推進

沿線地域防災への取組みとして、国の荒川下流特定構造物改築事業である京成本線荒川橋梁架替工事について、2022年度に着手するための準備と架替に必要な鉄道用地の取得を推進します。

<新橋設置時のイメージ>



③ 安定輸送対策

従来の高圧配電線を保安性の高いケーブル線に更新するほか、運行管理用ネットワークの機器更新を進めます。

④ 耐震補強工事

大規模地震への対策として、京成大久保駅等の駅舎、千葉中央駅～千葉寺駅間の高架橋柱の耐震化に引き続き取り組みます。



▲耐震補強工事イメージ(東中山駅)



▲千葉中央駅～千葉寺駅間 高架橋耐震補強工事

⑤ 法面補強工事

集中豪雨などにより法面(線路脇斜面)の土砂が流出することを防ぐため、宗吾参道駅～公津の杜駅間の法面補強工事を引き続き実施します。

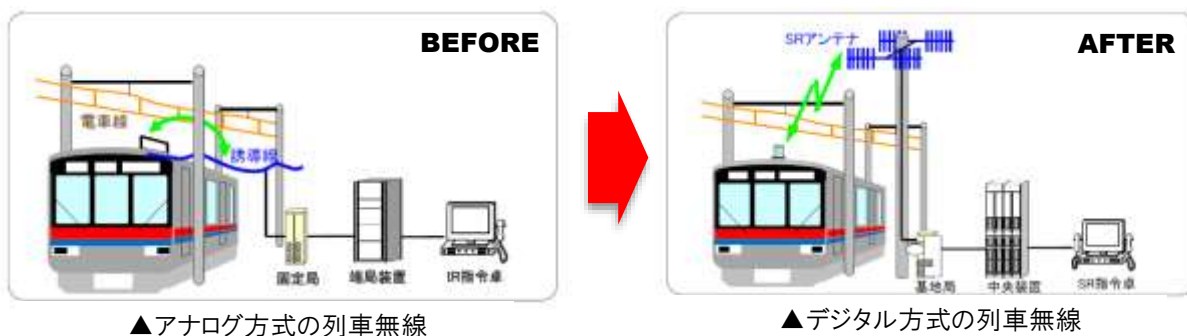


▲宗吾参道～公津の杜駅間

⑥ 鉄道施設の更新・改良

安全性の維持・向上のため、各種鉄道施設の計画的な更新・改修工事を実施します。踏切設備については、より検知精度の高い踏切自動障害物検知装置への更新を進めます。また、本年4月より順次使用を開始したデジタル方式の列車無線については、未設置の車両について引き続き車上設備工事を推進するほか、運転規制等の情報を乗務員に文字で伝達するための追加工事を実施します。これにより、運輸指令と乗務員間の円滑な情報伝達が可能となり、異常時対応の迅速化を図ります。

さらに、宗吾変電所の設備機器更新を実施し、安定的な電力供給を図るほか、線路の下に撒く砕石の厚みを増す工事や、軌道変位が生じにくいマクラギ(ラダーマクラギ)への交換などを実施し、運転保安度の向上並びに乗り心地の改善を図ります。



⑦ 駅の安全対策の強化

●内方線付点状ブロックの敷設

視覚に障がいをお持ちのお客様が駅ホームから転落する事を防止するため、ホーム内側部分に線状の突起を付け、ホームの内外を知らせる内方線付点状ブロックを京成酒々井駅等に設置します。



▲内方線付点状ブロック

●駅ホームの改修

駅ホームにおける安全性向上のため、宗吾参道駅等において改修工事を実施し、ホーム縁端と車両乗降口の段差解消を推進します。



▲ホーム改修工事イメージ(西登戸駅)

(2)サービスの向上・環境対策

① 3100形車両の追加導入

アクセス特急用の3100形車両を2編成(16両)導入します。
 なお、1編成(8両)は本年9月に導入済みです。



▲3100形車両

② 駅施設リニューアル工事

京成大久保駅・西登戸駅について、耐震補強工事とあわせて駅舎内・外装の改修工事を実施するほか、千葉中央駅駅舎のリニューアル工事を実施します。

③ 駅のバリアフリー化

2018年度から菅野駅のバリアフリー化工事(エレベーター、多機能トイレの設置)を推進しており、本年度中の事業完了を予定しています。

④ 駅・車内照明のLED化

更なる環境負荷の低減を図るため、各駅構内照明のLED化工事を推進します。

以 上